

令和6年度
大学生の力によるまちの課題解決
プロジェクト（提案型）
～ 募集要項 ～

国立大学法人福岡教育大学

日本赤十字九州国際看護大学 協働事業

宗 像 市



1 概要

この事業は、大学生の柔軟な発想や大学の研究成果を地域の課題解決及び魅力向上につなげることを目的に、国立大学法人福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学及び宗像市が令和3年度から取組みを開始した協働事業です。

令和6年度についても、市内2大学から大学の特色や学生の力を活かしたプロジェクトを広く募集し、実施するものです。

2 提案プロジェクト

(1) 提案できる内容は、次のとおりです。

ア 宗像市内で実施される活動や調査・研究であること。

イ 様々な分野のプロジェクトを対象としますが、特に、それぞれの大学の特色や学生の力を活かしたテーマ及び市が課題や重点的項目として考える内容についてテーマを設定し、プロジェクトの提案をお願いします。

※テーマ設定については、「よくある質問」もご確認ください。

ウ 令和3～5年度に本事業で実施されたものと同じの内容や、宗像市内において既にボランティア活動（海岸清掃、寺子屋授業等）として行われている取組みと同一の内容は対象外とします。ただし、大学の特色や新たな要素が付加されたプロジェクトについては対象とします。

エ 市指定課題に合致するプロジェクトを提案し、審査により認められた場合は交付活動上限額に加算します。

※市指定課題

「自転車等を活用した観光促進」「スポーツ・運動のきっかけづくり」「若者の選挙投票率向上」 詳細は7ページ【別記】参照

(2) プロジェクトの期間は、契約締結（令和6年6月28日予定）から令和7年3月24日までです。

(3) 他の委託料又は補助金の交付を受けているプロジェクトは、対象外とします。

(4) 活動費及び採択予定のプロジェクト数は以下のとおりです。ただし、募集状況等により採択数は変動することがあります。

	交付活動上限額	採択予定プロジェクト数	市指定課題
市内2大学	30万円/件	20件	左記金額に最大20万円を加算 (採択上限数5件)
市外4大学	20万円/件	10件	

※市外4大学：九州大学、九州産業大学、九州共立大学、福岡女子大学

3 提案者の資格

福岡教育大学又は日本赤十字九州国際看護大学に在籍する学生、大学教職員を含むグループ

※グループの代表者は学生又は大学教員とします。

※構成グループは必ず2人以上の学生又は大学教職員を含めることとし、他大学との共同提案も可とします。

※同一人物が代表者として2つ以上のプロジェクトを申請することはできません。

4 募集期間

提案の募集期間は、次のとおりです。

募集期間：令和6年4月30日（火）～令和6年6月7日（金）

5 提出書類

(1) 提案は、以下に定める様式（必要書類の添付を含む。）により行うものとします。なお、提出された全ての書類は、返還しませんのでご了承ください。

※提案書類は、宗像市個人情報保護条例及び宗像市情報公開条例の規定に基づき公開することがあります。

提出書類	備考
① 提案申請書（様式第1号）	団体名、連絡先、構成員名簿、PR文等を記入してください。
② 実施計画書（様式第2号）	プロジェクトの内容や期待される効果等を記入してください。別途、写真や図等による資料の提出を可とします。
③ 収支計画書（様式第3号）	プロジェクトに要する収入及び支出の内訳を記入してください。詳細はP.3 収支計画書の作成について を確認してください。
④ 中間報告書（様式第4号） （12月頃提出）	プロジェクトの進捗状況を報告してください。 当初計画から変更があった場合は、実施計画書及び収支計画書の変更手続きが必要となる場合があります。
⑤ 実績報告書（様式第5号） （プロジェクト完了後提出）	実施したプロジェクトの内容、成果、課題等を記入してください。 別途、使用したチラシ、写真等の資料を添付してください。

※上記書類のほか、成果発表会（令和7年2～3月予定）時に使用する資料の作成を別途お願いします。

(2) 提出期限等は、次のとおりです。

- ア 提出期限 令和6年6月7日（金）17時必着
- イ 提出書類 上記①～③の書類
- ウ 提出部数 1部
- エ 提出方法 「①メールによる電子データ」、「②郵送又は持参による紙」のいずれかを提出してください。
- オ 提出先 ページ末尾の問い合わせ先

収支計画書の作成について

収支計画書は、下記の要領に基づいて作成してください。

※ 積算に際しては、人件費を含め、必要なすべての経費を計上してください。

【収入項目】	【収入区分】	【積算の記入方法】
① 活動費	活動上限費 30 万円以内 (市指定課題を選択する場合は 50 万円以内)	30 万円以内で記入 (市指定課題を選択する場合は 50 万円以内)
② その他の収入	プロジェクトにより予定される上記以外の収入	物販費、参加費等活動費以外の収入を予定する場合は記入
【支出項目】	【使途区分】	【積算の記入方法】
① 人件費	プロジェクトに参加するスタッフの人件費	※時給 1,000 円(宗像市会計年度任用職員賃金額)を基準とし記入 ※1,000 円を超える場合は理由(資格あり等)を記入【人数×時間×単価】
② 報償費	外部講師に対する謝金等	謝金の目的別(講師謝金、原稿執筆謝金等)に記入【人数×回数×単価】
③ 旅費	プロジェクトに参加するスタッフ等の交通費、講師の会場までの交通費等	※目的地までの最短の公共交通機関を用いた金額で算定 ※旅費の目的別(会議出席、講師交通費等)に記入【人数×回数×単価】
④ 消耗品費	文具、書籍等の購入に要する経費	主な物品種別ごとに記入【数量×単価】
⑤ 印刷製本費	資料、チラシ、パンフレット等の印刷物の作成に要する経費	目的別(資料、チラシ作成等)に記入【部数×単価】
⑥ 通信運搬費	郵送料、電話料等に関する経費	目的別(切手代、電話代等)に記入【回数×単価】 【月額×〇ヶ月】
⑦ 使用料・賃借料	会場借上料、機械・器具・設備等の借料、車両借上料等に要する経費	対象別(会場、機械等の借料等)に記入【回数×単価】 【月額×〇ヶ月】
⑧ その他	上記以外のプロジェクトの実施に必要な経費	上記以外に必要な経費がある場合に記入

※収支計画書の積算は原則として上記項目の区分に従い記入してください。なお、上記以外の項目が必要な場合は適宜設定してください。この場合、上記の積算の記入方法に準じた記入をお願いします。

※飲食物等の食糧費は対象外ですが、活動に宗像の食材を使う場合などの原材料費は対象となります。判断が難しい場合などは事前にご相談ください。

※パソコン、タブレット、カメラ等の汎用性の高い備品・機器類の購入は対象としません。

活動にどうしても必要な備品・機器類がある場合は事前にご相談ください。

※報償費が活動費の過半を占める場合は、対象経費として認められません。

※イベント等の参加者へ配布するための書籍その他配布を目的とした既製品等の購入は対象としません。

※提案グループの資質向上を目的とした視察・研修等は対象外とします。

6 審査及び採択プロジェクトの決定

- (1) 提案されたプロジェクトの採択については、「7 審査のポイント」に基づき、審査します。
- (2) 審査方法は、原則、書面審査とします。
- (3) 審査の過程で問い合わせや追加資料の提出を求めることがあります。
- (4) プロジェクトの採択を決定するにあたり、一部内容の見直しを依頼する場合があります。
- (5) 採択プロジェクトの決定区分は、「採択」、「条件付き採択」、「不採択」です。
※提案されたプロジェクトが優れたものであっても、予算等の都合により「条件付き採択」、「不採択」となる場合があります。
- (6) 6月下旬（予定）に、審査結果を通知します。なお、不採択の場合はその理由を明示します。
- (7) 審査結果（不採択を含む。）は、市HPなどで公表します。

7 審査のポイント

プロジェクトの採択については「審査のポイント」に着目し、採否を決定します。

提案の際は以下の点について検討し、該当する項目があれば提案申請書及び実施計画書に具体的に記入してください。

項目	審査のポイント
①	プロジェクトの内容が、まちの課題解決及び魅力向上を目的とした取組みとなっている。 ※提案グループの資質向上を目的とした内容は対象外とする。
②	プロジェクトの内容が、学校や地域等多くの主体と連携とした取組みとなっている。
③	プロジェクトの内容が、児童・生徒や地域住民等多くを対象とした取組みとなっている。
④	プロジェクトの成果が、学校や地域等に広く還元され、波及効果が見込まれる。
⑤	プロジェクト終了後の活動の継続や発展が見込まれる。
⑥	プロジェクトの内容に市の政策と連携した内容が含まれる。

8 契約の締結、実施（採択された場合）

- (1) 採択プロジェクト提案グループの代表者もしくは大学と市との間で、委託契約を締結します。
- (2) 契約は、地方自治法の契約に関する条項、宗像市契約事務規則などの関係法令に基づいて行います。特に以下の事項に留意してください。
ア 活動費の支払いは、原則、当該年度でのプロジェクト終了後です。しかし、プロジェクト実施に当たって必要な場合は、事前に活動費の一部又は全部を支払う「前金払」も可能です。
イ プロジェクトの全部又は大部分を第三者に委託し、又は請負わせてはいけません。
- (3) 契約締結（令和6年6月28日予定）後、速やかにプロジェクトに着手してください。プロジェクトの完了期限は、令和7年3月24日です。
- (4) やむを得ない理由により期間の途中でプロジェクト内容を見直す場合は、実施計画書及び収支計画書の変更が必要です。必ず事前に連絡してください。
- (5) プロジェクト内容の見直しや中止に伴い契約を変更した場合、活動費の減額（前金払の場合

は返金)が生じる場合があります。

(6) 採用された際は広報等で申請時の内容を使用する場合があります。また、別途広報用の写真を依頼する場合があります。

(7) 本プロジェクトの公式 Instagram アカウント(ID:one_munakata)で、各グループ紹介やイベント情報の発信を行っていきます。その際に活動写真等の提供を依頼する場合があります。

また、各グループでインスタグラムのアカウントをお持ちの場合は、相互フォローをお願いします。

※一般の方を撮影する際は、肖像権の同意に協力してもらうなど十分に配慮してください。

9 事前相談

募集期間中、提案に当たっての相談を宗像市役所経営企画課で受け付けます。

(Mail: onemunakata@city.munakata.lg.jp)

10 交流会の開催 (予定)

提案プロジェクト採択後、活動グループ同士の交流会を予定しています。1ヶ月前までに開催日程等を案内しますので積極的にご参加ください。

11 成果発表会の開催 (予定)

令和7年2～3月頃に、採択プロジェクトの成果発表会を予定しています。日時は後日お知らせしますので、資料の作成及びご出席をお願いします。

※プロジェクト完了が3月末の場合も、成果発表会までの内容で発表をお願いします。

12 スケジュール

期間	手続き
令和6年4月30日(火)～ 令和6年6月7日(金)	提案募集期間
～令和6年6月下旬	書類審査及び採択結果の通知
令和6年6月28日(予定)～	契約の締結及びプロジェクトの実施
令和6年12月(予定)	中間報告書の提出
令和7年2～3月(予定)	成果発表会の開催
～令和7年3月24日	プロジェクトの完了期限(実績報告書の提出)

【問い合わせ・提出先】

〒811-3492 宗像市東郷一丁目1番1号 宗像市 経営企画部 経営企画課 人づくり推進係
TEL: 0940-36-1192 FAX: 0940-37-1242 Mail: onemunakata@city.munakata.lg.jp

【別記】

市指定課題

1	自転車等を活用した観光促進	<p>本市はサイクリングロードを有し、海岸沿いなどサイクリングの光景を目にすることも珍しくありません。今秋にはツール・ド・九州（UCI（国際自転車競技連合）公認のサイクルロードレース）が開催されるなど、サイクルツーリズムの可能性を有しています。そこで、道の駅むなかたを拠点としたモデルコースの設定や、若者の利用が見込めるレンタサイクル等の在り方について、市職員とともに検討をお願いします。</p> <p>〈むなかた観光ガイド URL（サイクリング）〉</p> <p>https://www.muna-tabi.jp/menu/cycling/index.html</p>																			
2	スポーツ・運動のきっかけづくり	<p>本市では、スポーツイベントや運動教室等を開催しているものの、スポーツ・運動を行う人は固定化しており、幅広い市民がスポーツ・運動に取り組むきっかけづくりとなる活動ができていません。</p> <p>そこで、幅広い市民がスポーツ・運動を体験できる場の創出について、具体的な取組みを市職員とともに検討、実行をお願いします。</p> <p>〈R4 市民アンケート〉</p> <p>1回30分以上のスポーツや運動をどのくらいの頻度で行っているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1日以上：44% ・週1回未満であるが、定期的に行っている：15% ・スポーツや運動をしていない：39% ・無回答：2% 																			
3	若者の選挙投票率の向上	<p>宗像市では、若年層の投票率が他の年代と比べて低い水準にとどまっています。</p> <p>宗像市では10月27日（日）に宗像市議会議員選挙が投開票される予定であり、当該選挙における若者の投票率の向上のため、SNSの活用を軸とした啓発活動など、具体的な取組を市職員とともに検討、実行をお願いします。</p> <table border="1" data-bbox="491 1570 1425 1892"> <thead> <tr> <th rowspan="2">選挙名</th> <th colspan="4">投票率</th> </tr> <tr> <th>全年齢</th> <th>10歳代</th> <th>20～24歳</th> <th>25～29歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福岡県議会議員選挙 (令和5年4月)</td> <td>34.67%</td> <td>23.65%</td> <td>16.04%</td> <td>19.04%</td> </tr> <tr> <td>宗像市議会議員選挙 (令和2年10月)</td> <td>47.62%</td> <td>36.56%</td> <td>23.82%</td> <td>26.11%</td> </tr> </tbody> </table>	選挙名	投票率				全年齢	10歳代	20～24歳	25～29歳	福岡県議会議員選挙 (令和5年4月)	34.67%	23.65%	16.04%	19.04%	宗像市議会議員選挙 (令和2年10月)	47.62%	36.56%	23.82%	26.11%
選挙名	投票率																				
	全年齢	10歳代	20～24歳	25～29歳																	
福岡県議会議員選挙 (令和5年4月)	34.67%	23.65%	16.04%	19.04%																	
宗像市議会議員選挙 (令和2年10月)	47.62%	36.56%	23.82%	26.11%																	

※市指定課題への取組みとして申請する場合は、プロジェクト内容について担当課と事前協議をしていただきます。

【よくある質問】

1 どのような提案をすればいいのかわからない

→この事業では、地域が抱える課題の解決や活性化を促進するための提案を広く募集します。教育や健康づくりの分野に限らず、スポーツ、観光、防災、地域の飲食店・特産物の SNS による情報発信等、学生の皆さんのアイデアと活力にあふれた様々な提案をお願いします。

2 どのようなテーマ設定すればいいのかわからない

→取り組むグループテーマ（教育、健康等）を、簡潔な文言でキーワード化して設定してください。

【例 示】※提案申請書（様式第 1 号）中「テーマ設定」欄の記入例

シティプロモーション、子育て支援、多世代交流、脱炭素、新型コロナウイルス感染症対策、防災（避難所運営等）、世界遺産、環境保全、地産地消、DX（デジタルトランスフォーメーション）、デジタルデバイド対策、高齢化、3R（リデュース、リユース、リサイクル）、食品ロス、女性活躍、LGBTQ、空き家対策、観光、離島、地域産品ブランド化、グローバル人材育成、総合計画、移住・定住・・・等

※上記のほか予算参考資料等からキーワードの選定・設定可

【予算参考資料】

<https://www.city.munakata.lg.jp/w011/050/020/yosan/R5yosan/R5yosansankoushiryou2.pdf>

※テーマ設定が難しい場合や相談等はメール・電話でご連絡ください。

3 パソコンやタブレットの購入はできますか？

→上記のほかプリンターやカメラ等汎用性の高い備品・機器類の購入は対象経費となりません。お手持ちの備品・機器類で対応可能な活動を実施してください。

4 宗像市の特産品や食材に関するプロジェクトを計画しています。

飲食に係る食糧費は対象外経費となっていますが、この場合も対象外になるのでしょうか？

→対象となります。食糧費とは、例えばグループでの食事会や打ち上げなどの飲食に関連する経費です。よって、宗像の特産品や食材を広めるために購入する食材等の経費は食糧費には該当しません。支出項目としては『その他』で計上し、どのような物を購入するのか記入してください。

5 パンフレットや広告類を作成する予定です。完成したものを駅構内（赤間・東郷）や市公共施設、宗像市のホームページに掲載することは可能でしょうか？

→基本的には可能です。事前にメール等によりご連絡ください。

6 活動費の前金払はできますか？

→原則として活動終了後の精算払いですが、必要に応じて前金払が可能です。契約手続きの際にご案内します。

7 プロジェクト完了後、実績報告書への領収書の添付や精算処理は必要ですか？

→領収書の提出は不要ですが、適正な資金管理のため、必要に応じて領収書を取得し各グループ内で保管及び管理してください。

実施計画の変更等に伴い当初予定していた経費が不要となった場合は、精算処理が必要です。活動費の減額（前金払の場合は返金）が生じることがあります。

6 やむを得ない事情により活動内容が変更となり、実施計画書や収支計画書の内容に変更が生じる場合、どうすれば良いのでしょうか？

→イベントが中止になった、パンフレットを作成しなくなった等当初予定していた実施内容に大きな変更が生じた場合、あらかじめ実施計画書及び収支計画書の提出による変更手続きが必要です。また、変更に伴い活動費の減額（前金払の場合は返金）が生じることがあります。ただし、消耗品の購入金額・数量の変更等、実施計画書の活動内容に影響を与えない軽微な変更の場合は手続きが不要です。

いずれの場合も、まずはメール等にてご相談ください。

～ 参 考 資 料 ～

【活動時の注意事項】

1 小中学校の児童生徒を対象とした事業について

プロジェクトの対象者を市内小中学校としている場合、原則、調整を各プロジェクト代表者より行っていただきます。なお、小中学校の協力が得られない場合は、以下のような方法もありますのでご検討ください。

- ・学童保育所の入所児童を対象とする
- ・福岡県立学校へ依頼（宗像中学校・宗像高校）
- ・市 SNS 等を活用し、市内全域の子どもを対象に参加を募る
- ・各地区コミュニティ・センターの一部で実施している「寺子屋」で実施する

2 小中学校、コミュニティ・センターへのチラシ等配布について

市内小中学校、各地区コミュニティ・センターへのチラシ等の配布は、経営企画課よりおこないますので事前にご連絡ください。経営企画課への連絡から、各施設への配布まで最大2週間ほど要しますのでご注意ください。

3 市への広報協力について

宗像市の SNS を活用して広く周知・募集を行うことが可能です。掲載希望日の2週間前までに経営企画課へご相談ください。

公式 SNS：Facebook、LINE、X（旧 Twitter）、Instagram

4 活動の記録について

成果発表や市による情報発信に活用するため、プロジェクト活動の際の写真や映像は、なるべく多く残してください。

5 肖像権について

各プロジェクトの活動の様子や、グループ交流会・発表会などをメディアに発信する予定です。肖像権について承諾いただけない方がグループやイベント参加者にいる場合は事前にご連絡ください。

6 保険について

活動中の事故によるけが等について、大学が加入する保険「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」等が適用される場合があります。詳しくは大学の窓口にあらかじめお問い合わせください。

7 人件費の取扱いについて

各グループより個人に支給される人件費は「雑所得」とみなされます。

8 成果物について（チラシ・冊子等）

各プロジェクトは宗像市の委託事業として行われます。チラシ・冊子等の成果物については、印刷前に宗像市にて内容の確認を行いますので、事前にご連絡ください。

9 施設の利用について

各地区コミュニティ・センター、メイトム宗像を会場として利用する場合には、使用料が減免されますので、事前に経営企画課へご連絡ください。

【令和5年度提案プロジェクト一覧】

プロジェクト名	プロジェクトの概要
職員室での対話を増やそうプロジェクト	市内の小中学校の先生等を対象に、教育に必要な多様な視点を含むテーマでの学習会と、教育観についての対話活動を実施することで、教員の選択・思考・判断の進化、教育の質の向上を図る。
福教大発 数学&芸術コラボレーションプロジェクト～『広陵台くじらまつり』のおみこしをつくろう！～	数学と芸術の教科横断型ワークショップを開催し、『広陵台くじらまつり』の御神輿を制作する。御神輿のデザインについて、数学と芸術の観点から解説したリーフレットを作成し、学校や公共機関に配布する。
見て、聴いて、体験する、参加型音楽プロジェクト	児童福祉施設の子ども、病院や介護老人福祉施設の利用者を対象に、演奏鑑賞、音楽教育、楽器体験等を提供することで、音楽の振興、音楽教育の充実、異年齢間での交流を図る。
宗像愛育成プロジェクト【書を通した赤間宿ブランド再興及び伝統文化の発信】	赤間宿で作品展や書道パフォーマンス等を行い、書道を通して赤間宿ブランドの再興、伝統文化の発信を行う。
ホープに通う不登校児童生徒を対象とした支援プロジェクト	子どもの自立サポートセンター「ホープ」と連携し、学生による活動支援や様々なイベントを実施することで、通室意欲促進を図り、社会的自立につなげていく。
不登校児童生徒の宿泊体験学習プロジェクト	市内の不登校児童生徒を対象に、3回の体験活動と宿泊体験学習を通して、不登校児童生徒の社会性を育み、引きこもりの改善を図る。
日本語を母語としない児童生徒への学習支援プロジェクト	日本語を母語としない児童生徒を対象に、授業中のサポートや、能力に応じた対象児童生徒独自の宿題作成等を行う。また、作成した宿題や支援の方法などは他学校と共有する。
“やさしい”があふれるまちプロジェクト	外国につながるのある市民やその子ども達と交流できる場として交流会を開催する。また、やさしい日本語ワークショップを開催し、外国人市民等にも暮らしやすいまちを目指す。
宗像防災キャンプ～学び伝える大切さ～	宗像市内の中学生を対象に宗像防災キャンプを開催し、その中で学んだ防災に関する知識について発表会を通して、子どもから大人へ波及させることで、市全体の防災意識向上を図る。
日本語を母語としない児童生徒への日本語指導サポートシステム	日本語指導を必要とする児童生徒を対象に、オンラインによる日本語指導のサポートと、日本語学習における指導方法や人間関係の作り方等をまとめたマニュアルを作成する。
学校現場に本物の演奏による幅広く深い学びを届ける支援実践活動	市内中学校2校を対象に、プロの演奏家による演奏と、大学の専門知による深い学習プランを提供することで、宗像市の文化芸術教育力の向上を図る。

子どもたちのプログラミング的思考を育成するプロジェクト	市内の小学生を対象に、教育用 PC を用いた授業の提案と実践を行い、論理的思考力の育成を図る。また、学校現場におけるプログラミングの参考資料として、指導案作成や教材開発を行う。
土の絵具で絵を描こう	市内の小学生を対象に、土を使って絵具を作り、装飾古墳を題材として模様や絵を描くワークショップを開催する。
地島の皆さんと一緒に防災・減災教室！広がり地域の防災・減災の輪	地島の全島民を対象に、体験型の防災・減災教室を開催し、地島地域全体の防災・減災意識向上を図る。
認知症があっても住みやすい宗像のまちづくり	「捜してメール」登録推進活動や「認知症サポーター養成講座」受講推進活動を通して、市民の方の認知症に対する理解を深め、認知症にやさしいまちづくりを目指す。
市総合計画に関連する事業アイデア創出に資するハッカソンの運営と冊子頒布による啓発活動～IT の利活用による住民の利便性向上を目指して～	宗像市の中高生を対象に、若者の立場から行政機関における ICT の活用方法を検討する（ハッカソン）イベントを実施する。総合計画のアイデアを出してもらい、市民にも交流してもらうことで市民の参画にもつなげる。
宗像市の子育て情報を発信したい！	宗像市で子育てを行っている保護者が、発達段階に応じて宗像市のどのような情報・広報を必要としているのかをリサーチする。その中から特に必要な情報について市場調査と情報発信方法を検討する。
「インタラクティブな PR 動画を作ろう！」むなかた PR 動画プロジェクト	視聴者の行動や選択に応じて異なるコンテンツを提供することができる対話式の PR 動画を作成する。宗像市の観光資源を中心に食住行との関係を「むなかたライフスタイル」として提案する。
「届け！若者の声！」アンケートアプリ開発プロジェクト	子どもたちがまちづくりに対して興味を持ってもらえるよう、子どもから市民（子ども含む）へまちづくりを考えてもらう動画を作成し、動画を見た人が誰でも意見を発信できるアプリを作成する。
いせきんぐ宗像（「田熊石畑遺跡」歴史公園）で、博物館浴しよう！	いせきんぐ宗像を野外博物館としてウォーキングによるリラックス効果測定体験を行い、歴史公園の新たな価値創造を感が合える機会とする。最終的には「いせきんぐ宗像」HP 上で紹介する。
神守る島「大島」アート展示	「響きあうアート宗像」学生グループ団体の申請。市民団体と一緒に大島全体各所に大型立体造形物を設置することで島の魅力を伝える。来場者には実際にアートを体験してもらうイベントも実施する。
時を超え、世代を超えて大島の食べものがたまりをつなぐ	大島の食べ物について、郷土料理や生産現場、行事など島の食文化を調査し、冊子にまとめ、島内外の様々な人を対象に島の魅力発信を行う。
生産者が語るむなかたブランドストーリー	地域ブランド価値向上のため、宗像商品の生産者取材し、ブランド立ち上げやこだわりなどの思いを冊子にまとめる。また、道の駅等に設置し、冊子のフィードバックを行うことで、どのような変化や効果が得られたかを検証する。

世代間・領域間化学反応プロジェクト	宗像市の高齢者を対象に「文化・福祉・環境」に関するニーズ調査を行い、学生が高齢者と交流する。その後、学生による子どもたちへの環境学習・福祉学習を行い自身がどのようなまちづくりが市に必要なのか提言を行う。
「地域共生社会へのパラダイムシフト」～パートナーシップを基軸にした自然災害に強いまち～ 宗像市地域防災 100 年プロジェクト	宗像市の小学校で Pepper くんを活用している学校やコミュニティ・センターを対象に、遊びながら防災を学ぶ「あそぼうさい」を開催し、子どもを起点とした多くの家庭における防災意識の向上を目指す。
“宗像”歴史まちづくりプロジェクト 2023 『宗像学～ムナ・フク＜宗像・旧福岡＞古城物語～』	宗像郡に関する文献・資料の調査を行い、豊富な歴史遺産、伝承などの魅力向上のために冊子・DVD 動画にまとめ、学生の新たな視点で宗像の魅力を発信することでシビックプライド向上を目指す。
スポーツを通じて宗像を「笑顔」に! ～宗像市民の弾ける「笑顔」を届け隊（たい）～	宗像市のスポーツイベントの参加者にインタビューを行い、スポーツの魅力発信動画の作成、情報発信ツールの開発、スポーツ普及・啓発チラシの作成。宗像市民のスポーツに対する意識改革を促す。
Legacy: Women of Munakata	宗像市に住む 80 代以上の女性にインタビューを行い、生涯で学んだことや苦労したことなど聞き取る。それを若い女性に伝達することで次世代の女性リーダーの育成を行う。

【令和4年度提案プロジェクト一覧】

プロジェクト名	プロジェクトの概要
小学校教育における【共生】と【自己実現】の実現プロジェクト	地島小学校と協働し、異年齢で構成されたグループを主体としたイェナプラン教育の実践に取り組む。その成果を踏まえ、市内の教員にイェナプランの理念と具体を発信する。
災害時の避難所設営・運営を考える	日の里中9年生とともに、中学生の力を生かした避難所の設営・運営への関わり方、意識の育成、特別な支援や配慮が必要な方への接し方などを学び、考える。
学級がもっと楽しくなる！係活動、自分の夢がもっと広がる！キャリア教育、学級活動コンテンツ	教員・小学生に向けて、学級活動がより楽しくなるような「自己有用感」を高める係活動に関する動画コンテンツと、子どもたちの夢や可能性が広がるような、発達段階等に応じた「勤労観や職業観」を育むキャリア教育に関する動画コンテンツを作成する。
『むなかた子ども大学』をアートの力で盛り上げよう	「子ども大学」と連携し、子ども大学の全体的な装飾と企業が開設する講座の装飾を行う。またその取組みを、当日の子どもたちに紹介し、アートの楽しさ、創作することの魅力を発信する。
ICT でつながる不登校児童生徒支援「Team(つなぐ)」プロジェクト	適応指導教室「エール」と連携し、オンラインでの学習指導を行う。また、不登校児童生徒宅に家庭訪問し、「エール」への登校復帰の支援を行う。
CoCo Music Festival～光と音の芸術祭～	日の里地区・東郷地区の小学生と保護者を対象に、灯籠で彩られた空間で音楽イベントを行う。灯籠はワークショップで子ども達と作成し、自分たちが作った灯籠が生み出す世界観と生の音楽が流れる空間を通して芸術に対する興味関心の育成と表現力の向上に資する。
宗像キッズへ伝統や文化を伝え、愛郷心を育む活動【書作品展示と体験型イベント】の開催	市内の小中学生を対象に、ワークショップと子どもたちも参加できる書道パフォーマンスを行う。書に宗像にちなんだワードを選び、説明しながら作品作りを行うことで伝統文化に触れながら愛郷心の育成に資する。
日本語を母語としない児童生徒への学習支援プロジェクト	日本語を母語とせず、日本語も分からない児童生徒を対象に、学校での学習支援及び学校でのルールや日常生活などについて教える生活支援を行う。
楽しみながら異文化に触れよう～多文化共生の実現に向けて～	市内の小学生（学童保育）を対象とした国際交流イベントと外国人市民や外国にルーツを持つ市民を対象とした交流会を行う。イベントを通し、多文化共生の推進や新たなコミュニティの形成に取り組む。
「子供の居場所」における音楽体験教育支援プロジェクト	市内の児童生徒を対象に、管弦楽の演奏、楽器体験、音楽についての学びを提供する。子どもたちへ音楽体験の機会を充実させるとともに、音楽という芸術振興を図る。
まちのみんなの美術館	市民を対象に、美術の「鑑賞」と「ワークショップ」を行う。「鑑賞」は展示作品のコンセプトや技法を来館者に伝え「観る」楽しさを、「ワークショップ」は簡単な作品作りを行い「創る」楽しさを伝える。
福教大発 数学を活用した宗像の魅力発見プロジェクト	市民を対象に、日常にある事象を数学を活用し、小学生が理解できる内容で解説する。マンホールと、地震とマグニチュードについて取り上げ、宗像と関連させた内容にまとめる。まとめたものは学校や公共機関に発信する。

「SDGs な学び」による体験活動型不登校児童生徒の支援「エール」プロジェクト	適応指導教室「エール」に通所する児童生徒を対象に、食と防災に視点を置いた体験活動を行う。また学習支援や体験活動での大学生との関わりを通して、社会への学びを拡げ、自身と社会とのつながりを考える機会とする。
赤十字とのつながり国際人道法を通じて平和を考える	市民を対象に、ウクライナの人道危機や紛争被害の状況などを掲示した企画展、小学生向けの講座、赤十字啓発コーナーの一般公開を通して、平和を考える機会を創出、提供する。
地域にひろげる『防災・減災』～いのちと健康を守る～	市民を対象に、テーマの異なる4回の講座と、地域住民を対象とした企画を通じて、防災・減災意識の向上に取り組む。
みんなで人道について考える～健康を守ろう！個性を知り認め合おう！～	市内の小学生（学童保育）を対象に、個性を認め合い、人を思いやることの重要性について考える機会、平和について考えてもらう機会、災害への備えや応急処置を学ぶ機会を提供する。
Let's 防災教室 島民の方々と日赤生がつながる！in 地島	地島島民を対象に、フィールドワークを実施し確認した危険箇所などをもとに防災教室を実施する。防災教室を通じて、災害に対する当事者意識や防災知識の向上を図る。
宗像市魅力新発見プロジェクト～知らぬなら知らせてみよう宗像市～	宗像の四季折々の景色や伝統行事などを歴史を踏まえて取材し、動画を作成する。動画は日・英・中・韓の4か国語を用いて制作し、国内外へ宗像の魅力をPRする。
宗像市を中心とした広域観光プロモーションの提案	宗像市のブランディング力を高めることを目的として、玄海エリアの広域観光推進について若者をターゲットとした観光プロモーションの企画、運営、SNSによる情報発信を試みる。
ICTを使った公共交通運行の見える化プロジェクト	ふれあいバス他の市内公共交通の利用者に向けた、運行ダイヤを適時表示するためのデジタルサイネージシステムの社会実装を試みる。
市外の若者の車を使った観光促進	免許を取得したばかりの市外の若者を対象に、車でまわる観光モデルコースなどの情報を冊子にまとめ、大学生が訪れやすいところに設置する。
むなかたマルシェプロジェクト	商工会やむなかたアートコレクションと協働し、むなかたマルシェを開催する。主に会場の飾りつけや案内パネル、チラシなどのデザイン制作を担当し、訪れた観光客に宗像ブランドの周知を図り、マルシェイベントを盛り上げる。
0から始めるミュージカル！	市民を対象に、ミュージカル出演をしてもらい、ミュージカルをする楽しさと舞台を作り上げる大変さを経験してもらいながら、達成する喜びを世代間を超えて共有する。
宗像パンバサダー！パンを通じて宗像食材の魅力を伝えよう	宗像産の食材を使ったパンレシピを考案する。また、4種類の宗像の食材を使用したパンの試食会や販売、宗像市に関するアンケートを実施し、宗像市に興味を持ってもらう。
宗像市の地域学『大島学～玄海の浦奉行～』	大島にゆかりのある歴史上の人物に関する文献・資料の整理を行い、フィールドワークを実施した上で冊子にまとめ、島内外に広報する地域学を構築する。
サステナブルツーリズム推進に向けた観光資源活用プロジェクト	市内の小、中、高生を対象に宗像の観光商品や体験プログラムを開発し、デジタル冊子にまとめる。

【令和3年度提案プロジェクト一覧】

プロジェクト名	プロジェクト概要
共生を意識した学校教育の推進者の育成	環境・防災教育について市場調査と意識調査を実施。また『イエナ教育』による言語教育を考案し地島にて実践。
English Fun Fair21	小学生を対象とし、コミュニティ・センターで活動ブースを作り外国人や学生と交流。ゲームをととして英語でのコミュニケーションの楽しさを体験。
日本語を母語としない児童生徒への学習支援プロジェクト	小中学校での授業のサポートや、授業中の別室個別指導を実施。また、学校との連携マニュアルも作成し、継続体制を整える。
スポーツ競技別における感染症への意識と対策の実態	コロナ感染対策とスポーツ大会・合宿における感染者発生時のマニュアルを基に、競技別に具体的な感染対策を講じる。
大学生によるおなかいっぱいプロジェクト 2021	福教大の生協と連携し、宗像の郷土料理や特産物を使った広報活動やイベントを実施。
コロナ禍における安全教育の質を高める教材づくり「命を守ろうプロジェクト」	命を守る安全教育（食物アレルギー、災害、不審者、熱中症、交通安全など）における、指導の質を高める教材を開発。
小学生～高校生・一般を対象とした「わくわく算数・enjoy 数学」プロジェクト	算数や数学の魅力や楽しさを伝える教材を開発・作成。学校やコミュニティ・センターに配布。
哲学対話で考える深い学びをみんなに	小中学校を中心として、哲学対話の出前授業を実施。哲学対話の普及を目指す。
ICT を活用した不登校児童への学習支援自立支援プロジェクト	ICT 機器を媒体とし、GIGA 局、教育サポート室エール、企業とコラボして、オンライン学習教材の開発や指導法を開発。
経済的に困難な状況に置かれている家庭の子どもたちに対する食とつながり体験による自立支援プロジェクト	対象児童の生活自立支援を図るために、子ども食堂やフードバンク、キャンプでの野外炊飯などの体験学習を開催。
『むなかた子ども大学』をアートの力で盛り上げよう	11月開催の『むなかた子ども大学』とタイアップし、各ブースのテーマに合わせた会場を装飾。大学と協働したまちづくりを実践。
Misson I'mPOSSIBLE 「個性を尊重しあえる社会へ」	国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE』を使い、児童にパラリンピックスポーツを体験。『I'mPOSSIBLE』のホームページにも投稿し全国発表予定。
日本赤十字九州国際看護大学公開講座「クロスカレッジ 2021」～みんなで行くヘルスケア～	地域の健康情報発信拠点として、オンライン及び対面講座を4回開催。
地域の伝承芸能や古典の名曲から音楽と歴史と文学を総合的に学ぶ講座	福岡の伝統芸能である筑前琵琶を用いて、音楽と歴史と文学を統合した学習活動。
看 do Munakater Project-宗像の魅力に感動・感じて動いて 元気な宗像人-	看護大生による宗像の特産品を使った健康促進メニューを開発。ストレス解消のための運動やリラックス方法も考案。美味しく楽しく宗像を満喫。
若者と高齢者の全線つながるプロジェクト in 地島	高齢者と宗像の食材を使い料理教室を開催。また地島の高齢者とのレクリエーション（野外ゲーム）などをととして、お互いの世代を理解し合うきっかけ作りを実施。

『子ども芸術まつり～みんなで屋台を作って祭りを開こう～』	小学生と一緒に、段ボール箱やお菓子の空き箱等を使った美術体験ワークショップを開催。『手づくり屋台の子ども芸術まつり』で発表。
子どもの可能性を引き出す「コーチング」教育について	学校現場におけるコーチングを学び、福教大大学院の実習先で実践。希望する市内の教員と共有し、教育現場に貢献する学びのプロジェクト。
わくわくラクロス	夏休みと冬休みに、学童保育の子どもたちとキッズラクロスに挑戦。福岡でも珍しいラクロスの楽しさを体感。
地域の方々とつくるアート活動	コロナ禍で遊び場が減り、エネルギーを持て余している子ども達のために、地域住民も参加して日の里団地でウォールアートを作成。
読みの困難さがある子供たちに対するプロジェクト	読みの困難さがある子供たちに対し「カラーバールーペ」などのツールを紹介。一人でも多くの生徒が、自分の個性にあった学びを習得できるようサポートする学びのプロジェクト。
灯籠を作って宗像の町を彩ろう！	小中高生を対象に、牛乳パックを活用して灯籠・ランプシェードを制作。赤間宿に展示して、柔らかい光で彩られた街を散策。
福岡教育大学中等音楽科学生による「音楽イベント」の開催	ひのさと48を舞台にした音楽イベントを開催。音楽をとおして様々な世代との交流を楽しむことで、住みやすいまち作りを目指す。
働く女性、子育て世代のウーマンライフ・ヨガ教室	働く女性や子育て世代を対象としたヨガ教室を開催し、若い世代の交流の場を提供。女性が自分らしく活躍できるまちを目指して、ひのさと48で有意義な時間を過ごす。
子ども達へ伝統や文化を伝える活動【作品展示とワークショップ】の開催	九州・中国・四国唯一の書道学科による書道の体験プロジェクト。映画『書道ガールズ』のモデルとなった教授の下で、全国的に活躍するメンバーが書道の素晴らしさを発信。
200m 竹流しそうめん	宗像の食材を用いて、なんと200mの巨大流しそうめん祭りに挑戦。大学生と地域住民の交流を図ることで竹害対策にも貢献し、SDGsにも取り組む。

※プロジェクト内容は一部変更あり

【SDGs17のゴール】

